平成24年9月7日

各 位

上場会社名　株式会社 山王
代表者　代表取締役社長 甲山文成
（コード番号　3441）
問合せ先責任者　取締役経理部長兼経営企画部長 鈴木啓治
（TEL　045-542-8241）

業績予想の修正、配当予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年3月7日に公表した平成24年7月期（平成23年8月1日～平成24年7月31日）における通期の業績予想および平成23年9月12日に公表した平成24年7月期の配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、当期末において特別損失（固定資産の減損損失等）を計上する見通しとなりましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年7月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年8月1日～平成24年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,400	145	175	555	115.17
今回修正予想(B)	7,821	296	338	601	124.86
増減額(B-A)	421	151	163	46	
増減率(%)	5.7	104.1	93.1	8.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年7月期)	6,450	△495	△508	△2,541	△527.42

平成24年7月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年8月1日～平成24年7月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,900	60	455	94.42
今回修正予想(B)	5,369	397	665	138.18
増減額(B-A)	469	337	210	
増減率(%)	9.6	561.7	46.2	
(ご参考)前期実績 (平成23年7月期)	4,589	△390	△2,409	△499.91

修正の理由

(1)連結業績予想

売上高につきましては、高性能携帯電話のスマートフォンやタブレットPC等のIT機器向けの受注が増加したことから、7,821百万円（前回予想比5.7%増）と予想を修正いたします。

また損益面では、前回予想に対し売上高が増収になる見込みであり、さらには人件費、設備投資等を中心に経費抑制に努めたことから、営業利益は296百万円（前回予想比104.1%増）、経常利益338百万円（前回予想比93.1%増）と予想を修正いたします。

当期純利益につきましては、退職給付制度変更に伴う特別利益388百万円の計上や、固定資産の減損損失に伴う特別損失116百万円の計上等により、601百万円（前回予想比8.3%増）と予想を修正いたします。

(2)個別業績予想

個別業績予想の修正につきましても、連結業績予想と同様の理由によるものです。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 （平成23年9月12日発表）	―	0.00	―	0.00	0.00
今回修正予想	―	0.00	―	6.00	6.00
当期実績	―	0.00	―		
前期実績 （平成23年7月期）	―	0.00	―	0.00	0.00

修正の理由

当社の利益配分につきましては、今後の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続実施していくことを基本方針としております。

当社の配当につきましては、平成22年7月期以来、誠に遺憾ながら無配としてまいりましたが、この間、人件費、設備投資等を中心に経費抑制に努めてまいりました。

当期の業績につきましては、減損などの特別損失を処理した上でも、当期純利益を確保できる見通しとなり、総合的に勘案したところ、復配の目処がついたものと判断されることから今回配当予想を修正し、1株当たり6円の期末配当を実施する方針といたしました。

なお、期末配当につきましては、平成24年10月開催予定の第54回定時株主総会の決議を経て正式に決定、実施する予定であります。

●特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する固定資産について、収益性の低下等による減損の兆候が認められたこと、また、土地については市場価格の下落により、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価格を回収可能価額まで減額するなど、平成24年7月期決算において116百万円の減損処理を特別損失に計上する見込みであります。

（減損損失の内容）

資産の内容	所在地	減損損失額
事業用資産	神奈川県秦野市	88百万円
遊休資産	福島県郡山市	28百万円

（注）上記に記載した業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上